

平成 20 年度 第 2 回 学術研修会 報告

平成 21 年 2 月 8 日(日)、島原市有明町総合文化会館 グリーンウェーブ2階 多目的ホールにて、参加者数 51 名(一般会員 17 名 / 新人教育プログラム 34 名)の中、今年度2回目の学術研修会が行われました。

今回は、九州中央リハビリテーション学院の壇 順司 先生をお招きし、「機能解剖と理学療法の可能性」というテーマで、10 時～16 時(途中 1 時間休憩)の間、講演と実技指導を行っていただきました。



壇先生は年1回のペースで、実際に大学の解剖学教室で解剖をされていらっしゃるが、単に組織を同定されるだけでなく、解剖を機能解剖の視点から行われ、臨床と結びつけていらっしゃる理学療法士です。得られた知見をジャーナル等で発表していらっしゃいますので、ご存知の方も多いのではないかと思います。

今回は、解剖による発見、肩関節の機能解剖、膝関節の機能解剖、足部・足関節の機能解剖、という内容でお話していただき、最後に肩関節に対する理学療法について、実技指導を行っていただきました(写真)。

機能解剖の視点で解剖すると、解剖や運動学の教科書に記載されている内容と異なった所見が得られたり、さらには教科書には記載されていない事柄が発見できたりするなど、非常に興味深い内容の講演でした。

参加された会員の皆様の今後の臨床に、十分に役立てていただける内容であったと確信しています。

最後に、この場を借りて、快く講師をお引受いただいた壇先生をはじめ、準備運営に尽力いただいた全ての方々に感謝いたします。

報告者：井ノ上 修一 (学術局長)